

1 教育課程の編成

NO	項目	前期 実施 状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施 状況	次年度に向けての 取組の方策
1	西脇市就学前教育・保育カリキュラム及び、こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた教育課程を編成している。					

2 教育・保育内容

(1) 0歳児

年齢	項目	前期実施状況	取組の状況	後期に向けての取組の方策	後期実施状況	次年度に向けての取組の方策
① 養護	生命の保持	一人一人の子どもの食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を十分に満たしながら、生活のリズムを形成していけるようにしている。				
		保育者の愛情豊かな受容により気持ちよく過ごせるようにしている。				
	情緒の安定	特定の大人とのかかわりやスキンシップを十分にとることを通して、一人一人の子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図っている。				
		静かで安心できる環境を作り、十分に休息できるようにしている。				
② 健康		つまむ、たたく、ひっぱるなど手や指を使って遊ぼうとしたり、興味のある所へ行こうとしたりするなど、自立の意欲が芽生えるよう環境の工夫をしている。				
		いろいろな食べ物に興味を持って食べようとするよう工夫している。				
③ 人間関係	生活や遊びの中で身近な人を求め、保育者とともに過ごすことを喜ぶようかかわっている。					
④ 環境	身近なものや自然物に興味や関心を持ち、喜んで見たり、触れたり、聞いたりなど五感を通して自らかかわろうとするよう環境の工夫をしている。					
⑤ 言葉	子どもに伝わるように優しく話しかけたり、ゆったりと応えたりする中で、喃語や発語の意欲を育てている。					
⑥ 表現	歌やリズムに合わせて手や足や体を動かす楽しさに気づくよう援助している。					

※取組の状況

①～⑥の領域から3項目記入

(2) 1歳児

年齢	項目	前期 実施 状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施 状況	次年度に向けての 取組の方策
①養護	生命の保持	一人一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存欲求を満たすとともに、生活のリズムを大切にしながら快適に過ごせるようにしている。				
	情緒の安定	一人一人の子どもの気持ちを理解し、受容することにより情緒の安定を図り、子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができるようにしている。				
		子どもの心の変化を感じ抱きしめたり言葉をかけたりして、安心感を得られるようにしている。				
②健康	いじる、たたく、つまむ、転がすなど手や指を使った遊びを繰り返し楽しめるような環境構成をしている。					
	安心できる保育者との関係のもとで、食事、排泄などの活動を通して、自分でしたいという気持ちを大切にしている。					
③人間関係	身の回りの大人や子どもに関心をもち、喜んでかかわれるよう、保育者が適切なかかわりをしている。					
	園生活の中の簡単なルールや約束事を遊びや生活の中で知らせている。					
④環境	身の回りのいろいろなものに関心をもち、開けたり閉めたり、押ししたり引いたり、投げたり追いかけてたりして試してみようとするのできる環境を工夫している。					
	身近な自然や環境を生活や遊びに取り入れて遊ぼうとすることができるよう仲立ちをしている。					

⑤言葉	生活や遊びの中で簡単な言葉を使おうとしたり、大人の言うことを理解しようとしていたりする姿を受け止め、あたたかく応答している。					
	自分のしたいこと、してほしいことや、「いや」「だめ」などの自分の気持ちを、指さしや片言等を使って伝えようとする姿をあたたかく受け止め、優しく応答している。					
⑥表現	歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて踊ろうとしたりする等、自分なりの表現を楽しめるよう様々な表現遊びを取り入れている。					
	保育者と一緒にいろいろなものや素材に触れながら、楽しんでかかわれるよう環境の工夫をしている。					

※取組の状況
①～⑥の領域から3項目記入

(3) 2歳児

年齢	項目	前期実施状況	取組の状況	後期に向けての取組の方策	後期実施状況	次年度に向けての取組の方策
①養護	生命の保持	保健的で安全な環境をつくり、快適で健康的に生活できるようにしている。				
		一人一人の子どもの生理的欲求や依存欲求を十分に満たし、園の生活のリズムのもとで快適に過ごせるようにしている。				
	情緒の安定	一人一人の子どもの気持ちや自己主張や欲求等を理解し、受容することにより、子どもとの信頼関係を深め、安心して自分の気持ちを表し受け止めてもらえる嬉しさを感じることができるようになっている。				
		一人一人の成長を認め、自分でできたという自信につながるようにしている。				
②健康	食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとするよう適切な援助をしている。					
	意欲的に自由に体を動かせるよう安全で活動しやすい環境を作っている。					
③人間関係	友だちへの関心が芽生えるような保育内容の工夫をしている。					
	簡単な約束ごとや順番などを知り、守ろうとするよう保育士等が友だちとのかかわりを仲立ちしている。					
④環境	身の回りの事物や親しみのもてる自然や動植物などの興味や関心が広がったり、自らかかわろうとできたりするような環境の工夫をしている。					
	子どもたちの小さな発見や気付きを受け止めながらもっとやりたいという意欲をもてるように、身近な自然や環境などに自らかかわる機会を大切にしている。					

⑤言葉	自分の気持ちや、見たり、触れたり、感じたりしたことを言葉で伝えようとしていたり、言葉のやりとりができるよう配慮している。					
	保育者や友達と積極的に言葉のやりとりをしながら、イメージを広げて楽しんで遊べるよう、保育士等が友だちとのかかわりの仲立ちをしている。					
⑥表現	生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことを自分なりに表現できるような環境を準備している。					
	好きな歌を歌ったり、様々な身体表現を楽しんだりできるよう保育内容を工夫している。					

※取組の状況

①～⑥の領域から3項目記入

(4) 3歳児

年齢	項目	前期実施状況	取組の状況	後期に向けての取組の方策	後期実施状況	次年度に向けての取組の方策
①養護	生命の保持	基本的な生活習慣が身に付くように促し、快適で健康的に生活できるように一人一人に応じた適切な援助をしている。				
		生理的欲求を十分に満たし、全身を使った活動を楽しみ、快適に過ごせるようにしている。				
	情緒の安定	一人一人の子どもの思いを受け止め、認めることで、主体的に活動できるようにしている。				
		一人一人の成長を認め、自分でしたい思いを大切にし、自分で自信をもって行動できるようにしている。				
②健康	基本的な運動能力を身に付け、身体を動かす楽しさを味わせている。					
	食事や排泄などの簡単な身の回りのことや生活の流れを理解し、見通しを持って行動しようとするよう適切な援助をしている。					
③人間関係	いろいろな遊びを通して、イメージを共有しながら、友達とのかかわりを広げていけるよう援助している。					
	遊びや生活の中にきまりがあることを知り、守ろうとする意欲を育むための様々な経験や友達とのかかわりがもてるよう配慮している。					
④環境	身近な自然や動植物に興味・関心をもってかかわり、様々な事象におもしろさや不思議さを感じたり、いたわりの心をもって自分からかかわろうとしたり、生活や遊びに取り入れようとするように援助している。					
⑤言葉	自分が経験したことや思ったこと、感じたことを進んで伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、積極的に言葉のやりとりや会話する機会をつくっている。					

⑥表現	生活の中で感じたことや体験したことからイメージを膨らませ、自分なりに楽しんで表現しようとする姿を認め、適切な環境を作っている。					
	表現を楽しもうとする姿を認め、生活や遊び、自然物など興味があることや経験したことを取り入れられるよう環境構成をしている。					

※取組の状況

①～⑥の領域から3項目記入

(5) 4歳児

年齢	項目	前期実施状況	取組の状況	後期に向けての取組の方策	後期実施状況	次年度に向けての取組の方策
①養護	生命の保持	生活に必要な基本的な生活習慣の自立を促し、快適で健康的に生活できるように一人一人に応じた適切な援助をしている。				
		全身を使った活動等を楽しむ中で、健康増進が積極的に図ることができるように適切な援助をしている。				
	情緒の安定	集団の中で、自己を十分に発揮し、自分の気持ちを安心して表現する中で、自信を育て、自己肯定感をもてるようにしている。				
		意欲的に活動する中で、自分でしたい思いを大切にしながらも活動のバランスを取りながら、心身の疲れが癒されるようにしている。				
②健康	健康、安全に必要な基本的な習慣や態度を意識して、自分で考え、行動しようとするよう丁寧に指導をしている。					
	遊びや園生活の流れに見通しをもって行動し、友達と一緒に遊びを楽しみ自分たちで遊びを発展させていけるような時間や場を確保している。					
③人間関係	いろいろなことに興味や関心をもち、自分で考えを試したり、やってみたり、あきらめず取り組もうとすることができる時間や環境を確保している。					
	友達と一緒に生活や遊びを進めていく中で、身近な人と親しみ、かかわりを深めていき、自分の思いに気づきながら、相手の思いも受け入れようとするとともに、共感し合ったり、ありがとう・ごめんなさいなどの気持ちを相手に伝えようとしたりできるよう、保育士等が適切にかかわっている。					

④環境	身近な事象や自然環境に興味・関心を持ち、自分たちで気付いたり、考えたり、工夫したりして遊びに取り入れようとするように環境を構成している。				
	愛情をもって身近な自然や動植物に接する中で、それらについて調べようとする意欲を育み、絵本や図鑑等を用意している。				
⑤言葉	自分の気持ちや考えを言葉で表現したり伝えようとしたり、身近な人や友達の話に興味や関心をもって聞こうとする機会をもてるよう配慮している。				
	一緒に遊びや生活を進めていくにあたって、友達と積極的に言葉のやりとりをしながら進めていけるよう適切なかわりをしている。				
⑥表現	自分のイメージや思いを自分なりに楽しんで表現し、いろいろな素材に親しみをもてるよう環境を整えている。				
	友達と一緒に様々な表現をしようとする姿を認め、生活の中でイメージを豊かにする配慮をしている。				

※取組の状況
①～⑥の領域から3項目記入

(6) 5歳児

年齢	項目	前期実施状況	取組の状況	後期に向けての取組の方策	後期実施状況	次年度に向けての取組の方策
① 養護	生命の保持	生活に必要な基本的な生活習慣が確立し、快適で健康的に生活できるように一人一人に応じた適切な援助をしている。				
		全身を使った活動等を通して、健康増進が積極的に図られるように、適切な援助をしている。				
	情緒の安定	集団の中で自己を十分に発揮できるよう、自分の気持ちを安心して表現したり、互いに認め合ったり、信頼関係を育んだりしながら、自信を持って行動できるようにするとともに、自己肯定感・自立心・社会性をもてるようにしている。				
		意欲的、主体的に活動する中で、活動のバランスを取りながら、心身の疲れが癒されるようにしている。				
②健康		健康・安全に必要な基本的な習慣や態度を身に付け、自主的に行動できるよう働きかけている。				
		体を十分に動かし、進んで友達と一緒に遊びや運動などに挑戦しようとする環境を整備している。				
③人間関係		友達と喜びや悲しみを共感しながら信頼関係を育み、自分たちの力で遊びや行事などいろいろなことにチャンレンジして、最後までやり通そうとする意欲を育むよう努めている。				
		遊びの中で互いに意見や感情の行き違いを経験しながら、相手の気持ちや考えを認め合い、折り合いをつけながら、よりよい方法を見つけようとするとともに、そのことを通してより強い仲間意識を育めるよう、保育士等が適切にかかわっている。				

④環境	様々な事象に関心をもち、工夫したり、創造したりしながら、遊びや生活に取り入れていけるよう、身近な自然、社会事象を見たり、触れたり、扱ったりする機会がもてるよう配慮している。				
	身近な自然や動植物に興味・関心をもち、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりしようとする意欲が育つよう、身近な自然や動植物等に接したり世話をする機会をもつようにしている。				
⑤言葉	自分がしたり、見たり、考えたりしたことや思いを、相手にわかるように伝えようとする機会や、友達の話をよく聞き、相手の思いや気持ちを考えて発言しようとしたり、生活や遊びの中で、場に応じたやりとりをしようとしたりすることができるような、場面を大切にしている。				
	言葉の美しさや面白さなどに気付くよう、絵本や物語、言葉遊び等に親しむ機会をもっている。				
⑥表現	いろいろな素材に親しみ、自分たちのイメージや思いをもとに自分たちで創り出し楽しんで表現する機会をつくっている。				
	感じたことや考えたことを工夫しながら友達と一緒に表現しようとする姿を認め、いろいろな体験や生活を通してイメージを豊かにする配慮をしている。				

※取組の状況
①～⑥の領域から3項目記入

3 安全管理・防災教育

NO	項目	前期 実施状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施状況	次年度に向けての 取組の方策
1	毎月の安全点検を行い、その結果について職員が把握し改善している。					
2	定期的に避難訓練を実施し、職員で役割分担の確認を行い、反省を次に活かしている。また地域との連携に努めている。					

4 家庭・地域との連携

NO	項目	前期 実施状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施状況	次年度に向けての 取組の方策
1	日頃から、教育・保育理念や方針、内容、方法などに関し、様々な機会を通して情報提供を行い、保護者との相互理解を得るよう努めている。					
2	子どものおかれている状況・育ちに応じて、家庭・地域・必要な専門機関や地域協議会等と連携している。					
3	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。					

5 職員の資質の向上

NO	項目	前期 実施状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施状況	次年度に向けての 取組の方策
1	一人ひとりが専門性を持ち、協働し職員全体の一員としての役割をしっかりと担っている。					
2	積極的に研修に参加し、学んだ内容を他の職員に発信している。					
3	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育の改善や専門性の向上に努めている。					

6 特別支援教育

NO	項目	前期 実施状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施状況	次年度に向けての 取組の方策
1	個々の障害や個別の課題をもつ子どもの実態把握に努め、教育・保育の内容や方法に配慮している。					
2	関係機関と連携しながら、保護者支援に努めている。					
3	職員の共通理解を図るための機会をもっている。					

7 保幼小の連携

NO	項目	前期 実施状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施状況	次年度に向けての 取組の方策
1	小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図っている。					
2	園児と児童の交流や、教師間の情報交換の機会を設けている。					

8 関係者評価の取組

NO	項目	前期 実施状況	取組の状況	後期に向けての 取組の方策	後期 実施状況	次年度に向けての 取組の方策
1	他者からの評価内容を把握し、そこから見えてきた課題を次につなげている。					